

皮下注射の方法＜アンプル＞

1. 使用する物

- ① 2.5ml注射器+23G注射針（水色） ② 25G注射針（オレンジ） ③ 消毒綿



- ④ FSH/hMG製剤（粉状）



- ⑤ 溶解液 1mlまたは2ml

生理食塩水
または
注射用水



- ⑥ 絆創膏

- ⑦ 医療廃棄物入れ

2. 注射の準備、仕方 ☆石鹸で手を洗い、きれいなタオルで拭きましょう。

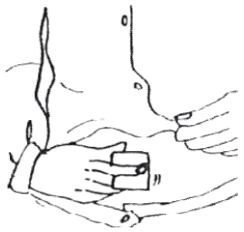
- ① 袋から注射器を取り出し、針をしっかり固定します。 ③ ★傾けても、水はこぼれません
② 溶解液のアンプル上部をカットします。



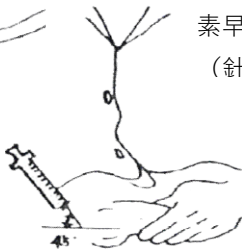
- ③ 溶解液アンプルを傾け注射器で1mlを吸い上げます。
④ 薬剤アンプルを斜めにして、溶解液を静かにアンプルの内側に向けて注入します。
⑤ 薬剤アンプルを傾け、溶けたFSH/hMG製剤を吸い上げます。（③の図）
⑥ 23G針から25G針に取り替えます。
⑦ 注射器を上にして持ち空気を抜きます。
⑧ 腹部に下記の要領で注射します。

- ⑨ 腹部に下記の要領で注射をします。

- ⑨-1 注射部位を消毒綿で拭きます。
（触れないようにしてください）



- ⑨-2 注射部位の皮膚を親指と人差し指でつまみ上げ、つまんだ皮膚の真ん中に約45度の角度で素早く針を刺します。ゆっくり注入します。
（針は1/2～2/3位刺してください）



- ⑨-3 注射が済んだら、針を素早く抜き注射部位をアルコール綿で押さえます。（もむ必要はありません）

3. 注意事項

- ① 注射部位は1ヶ所に集中しないようにしましょう。同一部位に繰り返して注射すると発赤や硬結の原因になります。
★必ず、腹部に皮下注射してください。薬剤が変わっても注射部位に変更はありません。
② 注射の際は十分に皮膚をつまみ上げ、皮下組織に針を刺すようにしてください。

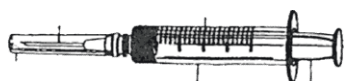
4. ゴミ処理について

使用済みの医療ゴミは、ビンやペットボトルなど硬めの容器に入れてください。容器がいっぱいになったら（もしくは注射が終了したら）まとめて看護師に渡してください。紙やビニール袋に入れるのは危険です。

皮下注射の方法<バイアル>

1. 使用する物

- ① 2.5ml注射器+23G注射針（水色） ② 25G注射針（オレンジ） ③ 消毒綿



- ④ FSH/hMG製剤またはアンタゴニスト ⑤ 溶解液 1mlまたは2ml ⑥ 絆創膏



バイアル

生理食塩水
または
注射用水

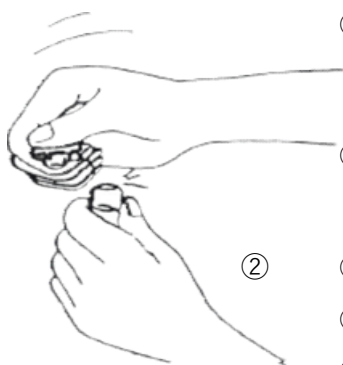


アンプル

- ⑦ 医療廃棄物入れ

2. 注射の準備、仕方 ☆石鹸で手を洗い、きれいなタオルで拭きましょう。

- ① 袋から注射器を取り出し、針をしっかり固定します。
② 溶解液のアンプル上部をカットします。



- ③ 溶解液アンプルを傾け注射器で

1mlを吸い上げます。

- ④ バイアルのプラスチックキャップを取り

ゴム栓を消毒綿で拭き、注射器の針をゴム栓の中央にまっすぐ刺します。

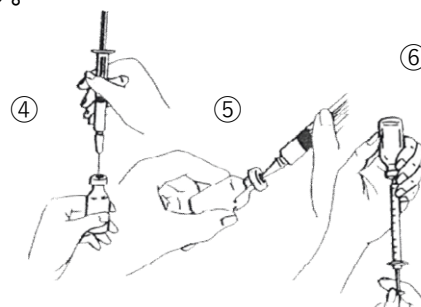
②

- ⑤ バイアルを斜めにして溶解液を静かにピンの内側に沿って注入します。

- ⑥ バイアルを逆さまにして、溶けたHMG剤を吸い上げます。

- ⑦ 23G針から25G針に取り替えます。

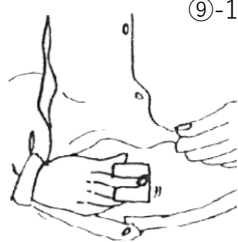
- ⑧ 注射器を上にして持ち空気を抜きます。



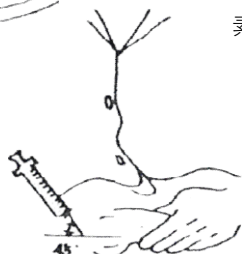
- ⑨ 腹部に下記の要領で注射をします。

- ⑨-1 注射部位を消毒綿で拭きます。

(触れないようにしてください)



- ⑨-2 注射部位の皮膚を親指と人差し指でつまみ上げ、つまんだ皮膚の真ん中に約45度の角度で素早く針を刺します。ゆっくり注入します。
(針は1/2~2/3位刺してください)



- ⑨-3 注射が済んだら、針を素早く抜き注射部位をアルコール綿で押さえます。(もむ必要はありません)



3. 注意事項

- ① 注射部位は1ヶ所に集中しないようにしましょう。同一部位に繰り返して注射すると発赤や硬結の原因になります。
★必ず、腹部に皮下注射してください。薬剤が変わっても注射部位に変更はありません。
② 注射の際は十分に皮膚をつまみ上げ、皮下組織に針を刺すようにしてください。

4. ゴミ処理について

使用済みの医療ゴミは、ビンやペットボトルなど硬めの容器に入れてください。容器がいっぱいになったら（もしくは注射が終了したら）まとめて看護師に渡してください。紙やビニール袋に入れるのは危険です。